

環境活動レポート

活動期間 平成28年8月～平成29年7月



発行：平成29年11月10日

総合建設業
竹花工業株式会社

目次

環境方針	1
組織の概要	2
組織図	3
再資源化(処理フロー)	4
主要な環境活動計画の内容	5
環境目標とその実績及び評価【本社】	6
環境目標とその実績及び評価【駒ヶ根支店】	7
環境目標とその実績及び評価【駒ヶ根工場】	8
主な環境活動の内容	9
環境関連法規への違反、訴訟の有無	12
次年度の環境目標・取り組み内容	13
総評	14

環境方針

1.環境理念

高い技術、誠実、迅速を常に信条として社業を通じ社会に貢献し

環境保全活動に全社員で取り組みます。

2.環境方針

- 1) 省資源・省エネルギーに取り組み、CO₂排出量を削減する。
- 2) 分別の徹底により、リサイクルの推進を図り、廃棄物を削減する。
- 3) グリーン購入を推進する。
- 4) 環境に配慮した建築物・工作物等の提案を行う。
- 5) 地域社会における環境汚染の予防及び拡大防止に努める。
- 6) 環境に関連する法規制を遵守する。
- 7) 本方針を全社員に周知し、継続的な維持改善を行い環境保全に努める。

平成23年9月10日 制定

竹花工業株式会社

代表取締役 唐澤 正幸

組織の概要

(1) 事業所及び代表者名

竹花工業株式会社
代表取締役 唐澤 正幸

(2) 所在地

本社 長野県小諸市南町二丁目6番10号
住宅事業課 長野県小諸市南町三丁目9番19号
小諸生コン工場 長野県小諸市甲1816-1
工事施工部 長野県小諸市甲狐穴1818-1
田中支店 長野県東御市泉518番地
軽井沢営業所 長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉字東屋敷浦4630-18
北軽井沢支店 群馬県吾妻郡長野原町大字応桑819-3番地
駒ヶ根支店 長野県駒ヶ根市中沢12175番地
駒ヶ根工場 長野県駒ヶ根市中沢3392番地

(3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 土木課長 峰村 修
担当者 経理課長 小宮山 剛
連絡先 TEL 0267 (22) 1750 FAX 0267 (23) 3969
HP www.takehanakogyo.co.jp E-mail inho@takehanakogyo.co.jp

(4) 事業内容

総合建設業 国土交通大臣許可（特・般）第3322号

営業種目： 建築工事、土木工事、管工事、とび・土工工事、石工事、ほ装工事、造園工事
鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、解体工事
電気工事、大工工事、屋根工事、内装仕上工事、タイル・れんが・ブロック工事
生コン等の製造販売、住宅販売、コンクリート補修、砂利・砂・砕石の採取販売
産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理(破碎)

一級建築士事務所 長野県知事登録（佐久）I第86095号

宅地建物取引業許可 長野県知事 (12)第1471号

産業廃棄物処分業許可 長野県知事 2040029517

許可年月日 平成27年4月25日 有効年月日 平成32年4月24日

産業廃棄物収集運搬業許可 長野県知事 2000029517

許可年月日 平成27年4月25日 有効年月日 平成32年4月24日

(5) 産業廃棄物処理施設等の状況 許可番号 長野県知事 2040029517

【中間処理施設所在地】 長野県駒ヶ根市中沢3242、3243

がれき類の破碎施設 固定式:RC-30 固定式:SAP-4K 処理能力(720t/日)

がれき類の破碎施設 固定式 処理能力(624t/日)

アスコン廃材 9,697.58t 二次製品廃材 1,503.55t

コンクリート廃材(無筋) 5,468.48t コンクリート廃材(有筋) 2,950.89t

(6) 産業廃棄物収集運搬の状況

収集運搬実績 業としての実績 0 t 自社収集運搬実績 1077.9 t

(7) 事業の規模

設立年月日 昭和38年1月30日

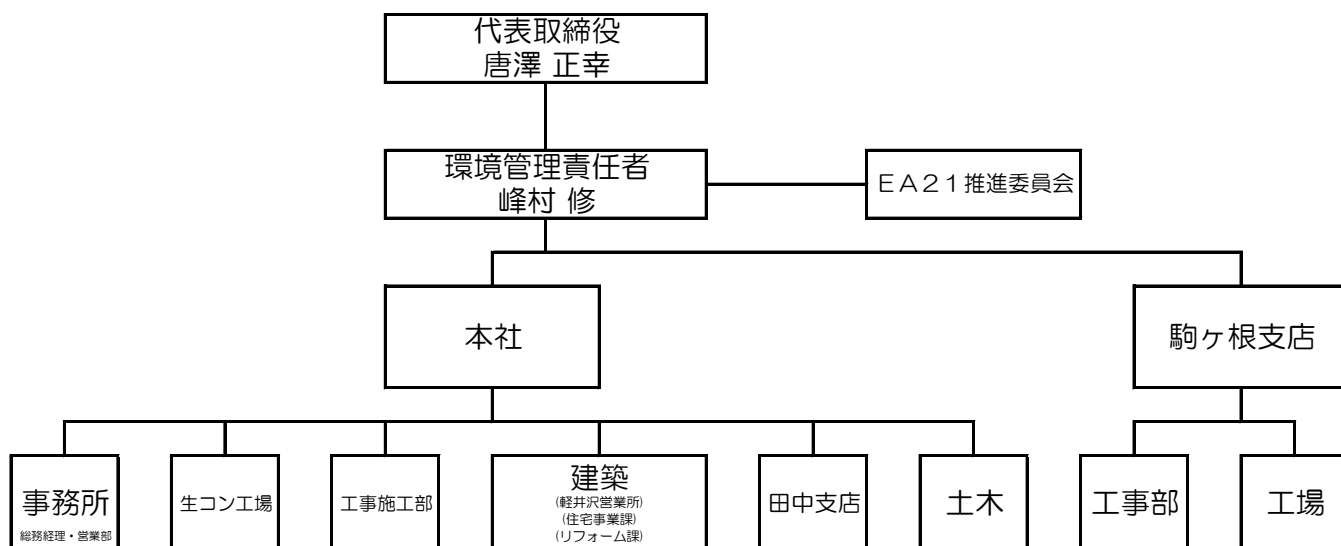
資本金 9,600万円（授權資本1億5,600万円）

売上高 61億9,113万円（第55期 H28.8.1～H29.7.31）

従業員数 145名

本社建物 鉄骨造陸屋根5階建て 延べ床面積 1,916.98㎡

平成28年度 環境経営システム組織図

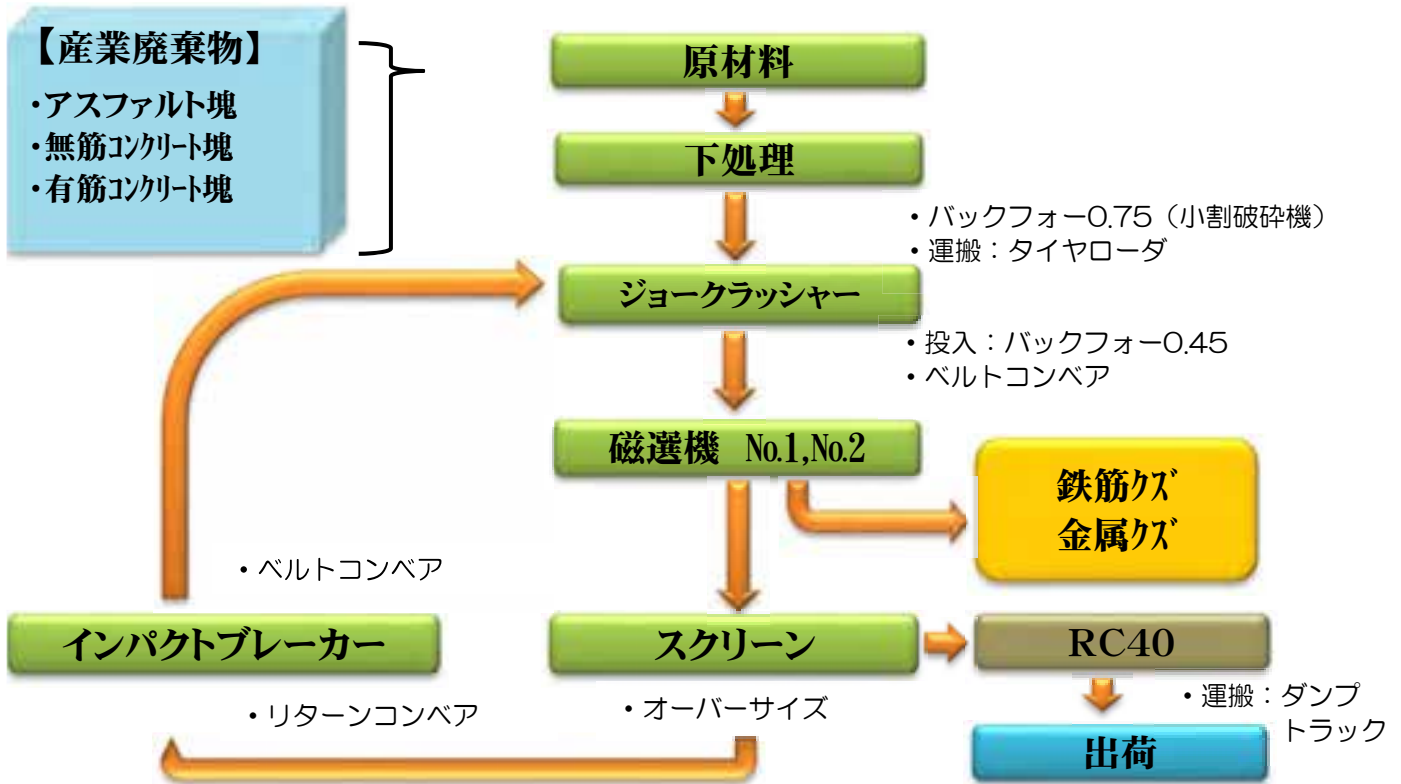


環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境目標・環境活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直しを実施。 環境活動レポートの承認。
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ票を承認。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境目標・環境活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境活動レポートの確認。
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

※ 下請負人に於いては、対象外とする。

がれき類の破碎施設作業フロー図



がれき類の破碎施設作業要領書

下処理

- ①アスファルト塊は、『25 cm』以下になるように処理する。
- ②下処理後、材料置き場には、アスファルト塊とコンクリート塊が『50 : 50』の比率になるように、タイヤローダで交互に運搬して集積する。
- ③コンクリート塊は、ある程度大きくても良い。

ジョークラッシャー

- ①材料投入は、材料の流れ具合を見ながらゆっくり行う。
- ②アスファルト塊とコンクリート塊が『50 : 50』の比率になるように混ぜて投入する。
- ③鉄筋や木材など異物を見つけたらすぐに除去する。
- ④二次製品を処理する時は、材料を少なめに投入する。
- ⑤雨天などで材料が濡れている時は、『大きめのコンクリート塊』を中心に投入する。

磁選機 No.1, No.2

- ①鉄筋など異物の除去具合を確認する。

スクリーン

- ①網の状態を確認し、鉄筋や異物が引っ掛かっている場合は除去する。
- ②時々、網の下のドロ等を清掃する。

インパクトブレイカー

【処理料金】

形状、数量等により異なりますので、弊社工場 (Tel.0265-82-5275) までお問い合わせ下さい。無料にてお見積りさせていただきます。

【保有する運搬車両】

11tダンプ 4台、4tダンプ 1台、2tダンプ 2台

平成28年度 主要な環境活動計画の内容

二酸化炭素の削減

- 【電力の削減】 削減率 -0.5%
 - ・昼食時及び不使用部屋消灯
 - ・OA機器の不使用時には電源をOFFにする
 - ・残業時間、夜間照明を必要最小限にする
- 【灯油の削減】 削減率 -0.5%
 - ・長時間不在時は暖房をとめる
- 【重油の削減】 削減率 -0.5%
 - ・生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する
 - ・日中はボイラーを止める
- 【都市ガスの削減】 削減率 -0.5%
 - ・不在箇所のエアコン電源OFF
- 【液化石油ガスの削減】 削減率 -0.5%
 - ・沸騰時にすぐ消火
 - ・音の鳴るやかん使用
- 【ガソリン・軽油の削減(自動車、建設機械等の燃料)】 削減率 -0.5%
 - ・エコドライブ・アイドリングストップを実施する
 - ・車両の整備、走行距離の定期的チェックを実施する
 - ・積載オーバーをしない
 - ・車両、機械の定期的整備を実施する
 - ・各現場へ乗り合わせて移動する。

廃棄物

- 【一般廃棄物・建設廃棄物の削減】 削減率 -0.5%
 - ・不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用）
 - ・分別収集によるリサイクル化の実施
- 【リサイクル化率の向上】 削減率 +0.1%

水

- 【水道水の削減・井戸水の削減】 削減率 -0.1%
 - ・水道水を出しすぎない
 - ・井戸水の使用量把握を行い削減につなげる

グリーン購入

- 【グリーン購入】
 - ・環境に配慮した再生資材等の購入を推進する
 - ・環境に配慮した事務用品等を使用する

化学物質

- 【化学物質使用量の削減】 削減率 -0.1%
 - ・原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する

製品

- 【製品への環境配慮】
 - ・環境に配慮した製品を生産又は販売する

※ 基準年【平成27年度】からの削減率を記載

平成28年度 環境目標と実績及び評価【本社】

項目			基準値		平成28年度実績値			中長期目標値		
			平成27年度 H27.8~H28.7		削減目標値	平成28年度 H28.8~H29.7	評価	平成29年度	平成30年度	
二酸化炭素排出量	電力	購入電力 kwh	219,963	▲0.5%	218,863	242,384	×	217,763	216,664	
		排出量 kg- CO_2	106,902	▲0.5%	106,368	117,799		105,833	105,299	
	灯油	使用量 L	5,547	▲0.5%	5,519	13,097	×	5,492	5,464	
		排出量 kg- CO_2	13,823	▲0.5%	13,754	32,637		13,686	13,616	
	重油	使用量 L	4,576	▲0.5%	4,553	6,310	×	4,530	4,507	
		排出量 kg- CO_2	12,399	▲0.5%	12,337	17,098		12,275	12,212	
	都市ガス	使用量 Nm3	5,289	▲0.5%	5,263	6,018	×	5,236	5,210	
		排出量 kg- CO_2	11,824	▲0.5%	11,765	13,453		11,705	11,647	
	LPガス	使用量 Nm3	94	▲0.5%	94	112	×	93	93	
		排出量 kg- CO_2	282	▲0.5%	281	336		279	279	
	ガソリン	使用量 L	82,115	▲0.5%	81,704	69,594	○	81,294	80,883	
		排出量 kg- CO_2	190,643	▲0.5%	189,690	161,573		188,737	187,783	
	軽油	使用量 L	86,784	▲0.5%	86,350	168,948	×	85,916	85,482	
		排出量 kg- CO_2	224,443	▲0.5%	223,320	436,937		222,198	221,075	
二酸化炭素総排出量		kg- CO_2	560,318	▲0.5%	557,516	779,833	×	554,712	551,911	
建設一般廃棄物	排出量		t	16,850	▲0.5%	16,766	8,672	○	16,682	16,597
	再資源化量		t	14,159	○	14,103	7,504		14,046	13,988
	リサイクル化率		%	84	+0.1%	84	87	○	84.2	84.28
水道水排水量		m ³	12,715	▲0.1%	12,702	10,581	○	12,690	12,677	
化学物質使用量		kg	1,689	▲0.1%	1,687	4,540	×	1,686	1,684	

※電気使用量によるCO₂排出係数は、中部電力 2015年による 0.486kg/kwhとする

評価

生コンの出荷量増により、工場の稼働率が上がったため電力使用量が増加した。また、自営工事も多く重機等の稼働率も上がり、軽油の使用量が増加したため、二酸化炭素排出量削減の目標達成にいたらなかった。廃棄物については、分別等によるリサイクル化の推進が出来た。

平成28年度 環境目標と実績及び評価【駒ヶ根支店】

項目			基準値		平成28年度実績値			中長期目標値		
			平成27年度 H27.8~H28.7		削減目標値	平成28年度 H28.8~H29.7	評価	平成29年度	平成30年度	
二酸化炭素排出量	電力	購入電力 kwh	30,121	▲0.5%	29,970	31,344	×	29,820	29,669	
		排出量 kg- CO_2	14,639	▲0.5%	14,566	15,233		14,493	14,419	
	灯油	使用量 L	2,349	▲0.5%	2,337	2,557	×	2,326	2,314	
		排出量 kg- CO_2	5,854	▲0.5%	5,824	6,372		5,796	5,766	
	重油	使用量 L	0	▲0.5%	0	0		0	0	
		排出量 kg- CO_2	0	▲0.5%	0	0		0	0	
	都市ガス	使用量 Nm3	0	▲0.5%	0	0		0	0	
		排出量 kg- CO_2	0	▲0.5%	0	0		0	0	
	LPガス	使用量 Nm3	101	▲0.5%	101	95	○	100	100	
		排出量 kg- CO_2	304	▲0.5%	303	286		300	300	
	ガソリン	使用量 L	11,851	▲0.5%	11,792	12,392	×	11,733	11,674	
		排出量 kg- CO_2	27,514	▲0.5%	27,376	28,770		27,240	27,103	
	軽油	使用量 L	20,610	▲0.5%	20,507	22,097	×	20,404	20,301	
		排出量 kg- CO_2	53,302	▲0.5%	53,035	57,147		52,769	52,503	
二酸化炭素総排出量		kg- CO_2	101,614	▲0.5%	101,106	107,808	×	100,597	100,092	
建設一般廃棄物	排出量		t	19	▲0.5%	19	17	○	19	19
	再資源化量		t	12	0	12	17		11	11
	リサイクル化率		%	60.3	+0.1%	84	99.81	○	60.43	60.49
水道水排水量		m ³	1,165	▲0.1%	1,164	1,250	×	1,163	1,162	
化学物質使用量		kg	0	▲0.1%	0	0		0	0	

※電気使用量によるCO₂排出係数は、中部電力 2015年による 0.486kg/kwhとする

評価

工事量の増加などにより、二酸化炭素の排出量実績が目標をオーバーした。

平成28年度 環境目標と実績及び評価 【駒ヶ根工場】

項目			基準値		平成28年度実績値			中長期目標値	
			平成27年度 H27.8~H28.7		削減目標値	平成28年度 H28.8~H29.7	評価	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量	電力	購入電力 kwh	678,177	▲0.5%	674,786	872,474	×	671,395	668,004
		排出量 kg- CO_2	329,594	▲0.5%	327,946	424,022		326,298	324,650
	灯油	使用量 L	20,660	▲0.5%	20,557	24,872	×	20,453	20,350
		排出量 kg- CO_2	51,483	▲0.5%	51,226	61,979		50,967	50,711
	重油	使用量 L	6,000	▲0.5%	5,970	6,000	×	5,940	5,910
		排出量 kg- CO_2	16,258	▲0.5%	16,176	16,258		16,095	16,014
	都市ガス	使用量 Nm3	0	▲0.5%	0	0		0	0
		排出量 kg- CO_2	0	▲0.5%	0	0		0	0
	LPガス	使用量 Nm3	250	▲0.5%	249	304	×	248	247
		排出量 kg- CO_2	750	▲0.5%	747	913		745	742
ガソリン	使用量 L	7,424	▲0.5%	7,387	7,270	○	7,350	7,313	
	排出量 kg- CO_2	17,236	▲0.5%	17,150	16,878		17,064	16,978	
軽油	使用量 L	315,094	▲0.5%	313,519	344,450	×	311,943	310,368	
	排出量 kg- CO_2	814,902	▲0.5%	810,828	890,823		806,753	802,680	
二酸化炭素総排出量		kg- CO_2	1,230,224	▲0.5%	1,224,073	1,410,875	×	1,217,923	1,211,774
建設一般廃棄物	排出量	t	0	▲0.5%	0	0		0	0
	再資源化量	t	0	0	0	0		-	-
	リサイクル化率	%	0	+0.1%	0	0		0	0
水道水排水量		m ³	1,172	▲0.1%	1,171	415	○	1,170	1,168
化学物質使用量		kg	0	▲0.1%	0	0		0	0

※電気使用量によるCO₂排出係数は、中部電力 2015年による 0.486kg/kwhとする

評価

総合的に前年度より生コンの出荷量が約1.5倍であったため、輸送用軽油の使用量、生コン製造用の電気量、材料生産用の電気量が増加したと思われる。また、寒さも厳しかったため灯油使用量も多くなり、これらの要因で二酸化炭素の排出量が多くなったと思われる。しかしながら電気代はエネサーブに変更したため若干であるが費用は抑えられた。また、水道水は年間を通して大幅に使用量が削減された。

平成28年度 主な環境活動の内容【本社】

【自営防衛訓練の実施】

開催日 平成29年9月6日（水）

時間 午後1時30分～午後3時

場所 本社2階・3階・駐車場

- 訓練内容
- 1.通報訓練・・・火災発見者が電話を利用し、消防機関へ119番通報する訓練
 - 2.消火訓練・・・消火器や消火設備について、設置されている位置や性能を確認し、使い方を訓練する。
 - 3.避難訓練・・・避難誘導責任者の指示により避難する訓練
 - 4.搬送訓練・・・竹竿と毛布を使用しタンカーの創り方の指導



【生コン事業部】

●環境活動の取り組み

- ・ブロック工場LED照明設置（平成28年10月）
- ・生コン工場事務所LED照明設置（平成29年1月）
- ・試験室LED照明設置、内装改修工事（平成29年3月）



- ・大型車購入 平成27年度燃費基準達成車・低排出ガス車（平成29年2月）
- ・大型車2台処分 排ガス規制非対応車（平成29年7月）



平成28年度 主な環境活動の内容 【駒ヶ根支店】

【生コン工場】

●緊急事態対応訓練 平成29年4月26日

【消火訓練】

- ・消火器使用方法の確認



●環境美化運動 平成29年4月

- ・土手の草刈り



平成28年度 環境関連法令等一覧表

主な法規制

法規・法令等名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
1.廃棄物処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
2.騒音規制法	特定建設作業（杭打ち機、削岩機等）の実施届出	遵守
3.振動規制法	特定建設作業（杭打ち機、ブレーカー等）の実施届出	遵守
4.大気汚染防止法	解体・改修工事に伴う特定粉じん等排出作業の届出	遵守
5.建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	新築工事及び解体工事の実施の届出	遵守
6.労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う石綿等の除去作業の届出	遵守
7.建築基準法	内装工事、空調工事に伴う使用禁止建材の規制等	遵守
8.建設工事公衆災害防止対策要綱	工事全般、解体工事に伴う付近住居者等への周知、塵芥・騒音防止の措置	遵守
9.フロン回収破壊法	解体前に設置有無確認	遵守
10.消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請・届出	遵守
11.廃PCB処理法	保管・処理の状況の届出	遵守
12.水質汚濁防止法	工事用排水、工場排水に伴う規制等中和装置の設置届	遵守
13.浄化槽法	設置、廃止等の届出 法定点検及び、保守の実施等	遵守
14.毒物及び劇物取締法	盗難/漏洩防止 保管施設への表示等	遵守
15.PRTR法	取扱時排出量・移動量の把握等	遵守

- ・当社は峰村管理者が中心となり法規の遵守状況について問題が無いことを確認しました。
- 又、過去3年間、違反、訴訟等の無い事を確認致しました。

次年度 環境目標・取り組み

平成29年度【平成29年8月～平成30年7月】

基準年【平成27年度】からの削減目標		取 組 み	取組重点部門
二酸化炭素の削減	電力の削減 -1%	1.昼食時及び不使用部屋消灯 2.OA機器の不使用時には電源をOFFにする 3.残業時間、夜間照明を必要最小限にする	各事業所
	灯油の削減 -1%	1.長時間不在時は暖房をとめる	各事業所
	重油の削減 -1%	1.生コン工場に於いて、水槽の温度をこまめに確認し、加熱器のスイッチを管理する 2.日中はボイラーを止める	生コン事業部
	都市ガスの削減 -1%	1.不在箇所のエアコン電源OFF	各事業所
	液化石油ガス(LPG)の削減 -1%	1.沸騰時にすぐ消火 2.音の鳴るやかん使用	各事業所
	ガソリンの削減 -1%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する。 2.車両の整備・走行距離の定期的チェックを実施する 3.各現場へ乗り合わせて移動する。	各事業所
	軽油の削減 -1%	1.エコドライブ・アイドリングストップを実施する 2.積載オーバーをしない 3.車両・機械の定期的整備を実施する	車両資材部 生コン事業部
廃棄物	一般廃棄物 建設廃棄物の削減 -1%	1.不要原紙の再利用（両面コピー、裏紙利用） 2.分別収集によるリサイクル化の実施	各事業所 各現場
	リサイクル化率の 向上 +0.2%		
水使用料の削減 -0.2%		1.水道水を出しすぎない 2.井戸水の使用量把握を行い削減につなげる	生コン事業部 各事業所
化学物質使用量の削減 -0.2%		1.原材料に含まれる化学物質の含有量を把握する	生コン事業部 各現場
グリーン購入		1.環境に配慮した再生資材等の購入を推進する 2.環境に配慮した事務用品等を使用する	各事業所 各現場
製品への環境配慮		1.環境に配慮した製品を生産又は販売する	生コン事業部 各事業所

総 評

55期は、本社生コン工場・駒ヶ根プラント工場の売り上げ増と、本社大型工事の完成もあって、15年ぶりに60億を超える売り上げとなった。決算内容も良く、前期の大幅な赤字を挽回する数値となった。それぞれの工事に対しての、全社的な対応と現場員、各職方の対応に感謝したい。

今期も建築を中心として受注工事が多いが、大型工事は来季の完成となり、今年度は数値的に厳しい。今後も代理人不足と職人の高齢化への対応が問題となり、社を取り巻く多くの関係者に対しての協力要請が必要となってくる。

今年度も環境理念・方針のもとで環境活動を行ってきた。

太陽光発電システムについては、本社一本松地積で250KWの施設を建設するなど遊休地利用を図っている。現在は様々お客様の要望により、設置及び計画を実施している。住宅建設においても太陽光発電システムの推進や、社内各事業所でのエコドライブの推進、環境美化活動など具体的な活動を継続しているが、大型工事の完成などにより削減が難しい項目もあった。

古くなったプラント部門の改修は継続しており、環境にも配慮した施設としていきたい。

残コン再利用の商品化は継続しており、金型を用いたコンクリートブロックの精度の良さもあり、売り上げが29年7月期で935個と毎年売上個数が伸びている。今年も大型作業車購入があり、低排出ガス車への切り替えを念頭に置き、例年のように生コン車・ダンプカー・社有乗用車の入れ替えを行った。今後も本社の活動に駒ヶ根支店や関連会社の活動も加わる中で、さらに関係する多くの人々への広がりを持った活動としていく。

本社・駒ヶ根の社屋は建設からの年数が40年を超える状況にある。土地の問題など様々な条件はあるが、事業継続マニュアルBCPでも求められている、耐震対策を満足し環境にも優しい社屋の建設を数年後にできるように建設計画をしていきたい。

竹花工業株式会社

代表取締役 唐澤 正幸